

2019年度特別支援教育に関する実践研究充実事業  
 (新学習指導要領に向けた実践研究)  
 成果報告書 (概要)

受託団体名
広島県教育委員会

## 1 指定校の一覧

設置者	学校種	課程又は障害種	学校名 (ふりがなを付すこと)
広島県	特別支援学校	視覚障害	ひろしまけんりつひろしまちゅうおうとくべつしえんがっこう 広島県立広島中央特別支援学校

## 2. 事業の実績

### (1) 事業の実施日程

実施時期	実施内容	評価事項
平成 31 年 4 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○研究組織体制(文部科学省指定事業運営会議メンバー)の確認(研究協力者 4 名, 事務局10名)</li> <li>○学校図書館情報化推進に係る研修               <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究部「本年度の研究推進計画」</li> <li>・研究主題：視覚障害児の思考力を育てるための対話的な学びを中心とした授業づくり</li> </ul> </li> </ul>	<p>会議メンバー (研究協力者) の一部変更</p> <p>対話的な学びの一つとして「本との対話」を位置付ける。</p>
令和元年 5月7日(火)～ 令和2年 1月31日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校司書等の配置               <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校司書関係業務を行う職員(スクールサポートスタッフ：非常勤職員)を1名配置</li> </ul> </li> </ul>	<p>貸出し・返却等, 蔵書管理, 読書環境整備, 図書広報, 外部連携, サピエ関連業務, リファレンスサービス等の推進に努める。</p>
令和元年 5月9日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○読書活動と言語活動の取組の実施①               <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究部主催研修</li> <li>講師：広島大学学長特任補佐大学院教育学研究科 教授 難波博孝先生</li> <li>演題：主体的・対話的で深い学びの礎となる学校図書館について</li> </ul> </li> </ul>	<p>主体的・対話的で深い学びにつながる学校図書館の役割並びに大規模な除籍の推進・学校図書館目的別複数化等, 研究推進に係る助言を受ける。</p>
令和元年 6月～7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校図書館の整備① 教育情報部               <ul style="list-style-type: none"> <li>・リニューアル後のレイアウト図の作成</li> <li>・本校独自の除籍基準の作成</li> <li>・第1次除籍作業の実施</li> </ul> </li> </ul>	<p>3,031冊(全体の約3割)の除籍を行う。</p>

令和元年 7月	<p>○ICT環境等の整備 教育情報部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館情報化による利用の仕方について</li> <li>・サピエの登録開始</li> </ul> <p>○読書活動と言語活動の関連取組事例の整理①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学部図書委員会の活動</li> </ul>	<p>デジ図書,点字図書のダウンロードが可能となる。</p> <p>図書委員会活動としてお薦めの本の紹介やクイズの出題等を行っている。</p>
令和元年 7月29日(月)	<p>○読書活動と言語活動の取組の実施②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育情報部主催研修</li> </ul> <p>講師：筑波大学附属視覚特別支援学校 司書教諭 富澤亨子先生</p> <p>演題：主体的・対話的で深い学びの礎となる学校図書館について</p>	<p>筑波大学附属視覚特別支援学校における学校図書館の先進的な取組について学び,学校図書館環境整備の助言を受ける。</p>
令和元年 7月29日(月)～ 8月28日(水)	<p>○学校図書館の整備② 教育情報部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高さ200cmの鉄製書架を撤去</li> <li>・高さ150cmの4段式木製の書架を設置</li> <li>・床のカーペット化</li> <li>・天井照明のLED化</li> <li>・高等部普通科生徒の教育活動：壁面の一部にペンキ塗布作業</li> </ul>	<p>小学部の児童でも十分手が届くようになり本を探しやすくなる。</p> <p>明るく,くつろぎのある雰囲気となる。</p> <p>入口から奥まで見通せ,開放感が感じられる。</p>
令和元年 8月1日(木)	<p>○学校図書館の整備③ 研究部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先進校視察の実施：横浜市立盲特別支援学校</li> </ul>	<p>視覚障害のある生徒等への配慮やボランティアの活用等の助言を受ける。</p>
令和元年 9月6日(金)	<p>○第3回文部科学省指定事業運営会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年目を中心としたこれまでの研究経過並びに先進校視察</li> <li>・リニューアルした学校図書館について説明</li> <li>・視覚障害特別支援学校図書館における効果的な配架,除籍基準</li> <li>・今後の研究計画</li> </ul>	<p>各研究協力者から視覚障害特別支援学校としての学校図書館改装及び環境整備や本研究2年目の実践研究について留意点等指導・助言を受ける。</p>
令和元年 10月1日(火)	<p>○学校図書館の整備④ 教育情報部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館リニューアルオープン</li> <li>・絵本図書館の新規オープン</li> </ul>	<p>分かりやすい配架を工夫するとともに,幼児向けの本を別室に移動し,新規オープンする。</p>
令和元年 10月15日(火)	<p>○読書活動と言語活動の関連取組事例の整理②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「令和元年度特別支援学校『伝えたい!ことばのかけはし』優秀作品コンクール」</li> </ul>	<p>小学部2作品,中学部1作品,高等部普通科1作品を出品する。</p>
令和元年 11月15日(金)	<p>○学校図書館の整備⑤ 研究部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先進校視察の実施：三原市立木原小学校</li> </ul>	<p>学校図書館の授業での活用実践例の紹介を受ける。</p>
令和元年 11月18日(月)～	<p>○研究の整理・分析①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全教職員と幼児児童全員に対し学校図書館ア</li> </ul>	<p>学校図書館リニューアルに対して肯定的な回答が</p>

11月29日(金)	ンケート， 幼小学部と中・高等部普通科の重複 学級生徒及び関係する教職員に対して絵本図書館 アンケートの実施	多い(生徒等96%，教職員 98%)。リニューアルによ って，読書や調べ物など学 習への意欲が高まり主体 的な学びにつながること が期待できる。
令和2年 1月～3月	○学校図書館の整備⑥ 教育情報部 ・第2次除籍作業の実施	892冊の除籍を行う。
令和2年 2月	○研究の整理・分析② ・研究成果物(研究紀要リーフレット)の作成 ・委託事業完了報告書の作成，提出	全国の視覚障害特別支援 学校及び県内の全特別支 援学校へ配付する。
令和2年 2月4日(火)	○読書活動と言語活動の関連取組事例の整理③ ・「令和元年度特別支援学校『伝えたい！ことば のかけはし』優秀作品コンクール」受賞	最優秀賞2点，優秀賞2点
令和2年 2月7日(金)	○読書活動と言語活動の取組の実施③ ・公開授業研究会における全体講演 講師：広島大学教育学研究科 准教授 氏間和仁先生 演題：視覚障害児の思考力を育てるための 対話的な学びを中心とした授業づくり ・公開授業研究会における学校図書館公開	主体的に学び続ける力を 身に付ける指導について 助言を受ける。 公開授業研究会での外部 参加者：82名(23都府県) 学校図書館見学者：41名
令和2年 2月18日(火)	○第4回文部科学省指定事業運営会議 ・今年度を中心としたこれまでの研究経過 ・学校図書館アンケートの結果 ・研究成果物及び研究のまとめ	研究のまとめについて協 議し助言を受けた。
令和2年 3月	○研究のまとめ ・研究成果物(研究紀要リーフレット)の完成 ・委託事業成果報告書(詳細報告)作成，提出	

## (2) 研究課題

主体的・対話的で深い学びの礎となる視覚障害特別支援学校学校図書館の環境整備上の重要事項の提案。対話を通して思考力を育む授業についての重要事項の提案。

### (3) 研究の概要

本研究は平成 30 年度から 2 年間実施した。昨年度は文献研究、全国の視覚障害特別支援学校及び校内の教職員に対するアンケート調査の実施と分析、県内図書館に係る有識者の会議等により、幼児児童生徒（以下「生徒等」とする）が「読む」、「調べる」等の活動をしやすいレイアウト、新刊図書等の情報発信、読書スペースの確保等、生徒等に適した読書環境について明らかにした。

令和元年度には学校図書館の大規模なリニューアルを行い、読書環境を大きく整備した。前年度に引き続き、学校司書関係業務を行う非常勤職員(スクール・サポート・スタッフ)を 1 名配置し、学校図書館等の充実、読書環境の整備に向けて取り組んだ。学校図書館に関する校内全体研修会(講演会)を 2 回実施し、主体的・対話的で深い学びの礎となる学校図書館について多くの示唆を得ることができ、読書環境の改善につなげることができた。先進校視察として横浜市立盲特別支援学校と、三原市立木原小学校を訪問し、視覚障害者に対する読書環境の合理的配慮や、学校図書館を活用した対話的な学びの実践など参考にした。サピエの導入による点字図書の充実を図った。生徒等の主体的・対話的で深い学びの実現、言語活動の充実に向けて、学校図書館を授業で活用することにも取り組んだ。図書館リニューアル後のアンケート調査の実施・分析により、主体的な学びにつながることを検証した。

### (4) 研究の成果

視覚障害がある生徒等の主体的・対話的で深い学びを育成するため、文献研究及び校内外の調査研究に基づき、目指す学校図書館像を描き、生徒等に適した読書環境の在り方について検討を進め、学校図書館等の充実、読書環境の整備を進めた。司書業務職員の配置や、サピエを利用した点字図書の充実(令和 2 年 1 月までのダウンロード数 99 冊)、学校図書館のリニューアル等の実践をした。

その結果、学校図書館利用者や図書貸出数の増加(月平均:平成 29 年度 72.7 冊→平成 30 年度 106.4 冊、平成 30 年 8～12 月平均 118.3 冊→令和元年 8～12 月平均 132.3 冊)、読書意欲の向上(図書館で今まで以上に読書をしたいと思う生徒等の割合 87%)、生徒等の主体的な学びの推進(図書館で今まで以上に調べ物をしたいと思う生徒等の割合 83%)、学校図書館を活用した調べ学習、児童会図書委員による活動、国語以外の授業での活用などにおいても、新たな実践が行われる等の変化が見られた。

「視覚障害児の思考力を育てるための対話的な学びを中心とした授業づくり」を研究テーマとした取組を進めた。対話的な学びの一つとして「本との対話」を位置付け、「物との対話」、教師やクラスメイト等との「人との対話」、自分で考察できる「自己との対話」等を通して、教科の見方・考え方を高め、学習した知識を活用できる思考力を育てる授業づくりを進めることができた。

## (5) 課題と今後の方策

研究の結果、読書環境の整備等は、読書意欲の向上（図書館で今まで以上に読書をしたと思う生徒等の割合 87%、）、生徒等の主体的な学びの推進（図書館で今まで以上に調べ物をしたと思う生徒等の割合 83%）につながる事が示唆された。今後も引き続き対話的な学びの一つとして「本との対話」を位置付け、対話的な学びを通して思考力を育む上で重要であると整理した、授業の過程における①必然性のある導入、②自力解決、③考えの表現・共有、④考えのまとめについては引き続き授業実践を通して検証していく。

また、授業で学校図書館を活用する機会をさらに増やすとともに、サピエを活用したいという生徒等の割合が 58%であったことから、サピエの利用の仕方について教職員研修を実施したり、生徒等への周知を行ったりする。また、次年度も学校司書関係業務を行う職員を配置し、更なる読書活動の推進と主体的で深い学びにつながる取組の実現を図っていきたいと考える。